

事前評価個表

整理番号	7
------	---

地域（地区）名	とねかりゆう 利根下流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	群馬県	対象市町村	まえぼし 前橋市ほか5市町村
事業実施期間	R4年度～R8年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は群馬県の中央部から南東部に位置し、総面積は162千ha、森林面積は59千ha（森林率37%）である。民有林面積は48千haでスギ、ヒノキを主体とした人工林の面積は27千ha（人工林率56%）となっている。</p> <p>また、本地域の林道延長は447km（林道密度9.2m/ha）で、このほかに作業道1,335kmが整備されており、林内道路密度は36.8m/haとなっている。</p> <p>本地域の民有林人工林については、Ⅶ齢級以上の森林が約87%を占めており、本格的な利用期を迎えている。一方で、小規模零細な森林所有者が多く、高齢化や後継者不足により森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入りが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、利根下流地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p> <p>具体的には、主伐と再生林を推進し森林資源の循環利用を促進するほか、間伐も継続的に進め、公益的機能が高度に発揮される森林づくりを目指すとともに、小規模で複数の施業地を効率よく整備するため、路網整備を含めた施業の集約化を行い、渋川県産材センター等と連携しながら県産材自給率の向上、森林所有者の所得向上及び地域経済の活性化を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,500ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：2,399m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：1,648,547千円（税抜き1,498,679千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 4.51$</p> <p>（総便益（B）＝10,310,659千円、総費用（C）＝2,285,357千円）</p>
評価結果	<p>必要性：主伐や間伐等の森林整備が必要な人工林を多く占める地区であり、森林の多面的機能の維持増進を図るため、適正な森林整備の実施が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：集約化施業を行うことにより、低コストが図られ森林所有者の負担が軽減し、さらなる森林整備を推進することにより、水源涵養及び土砂流出防止等の森林の持つ多面的機能の維持増進も図られるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：群馬県

地域(地区)名：利根^{とね}下流^{かりゅう}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,537,335	
	流域貯水便益	524,153	
	水質浄化便益	1,677,335	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,743,497	
環境保全便益	炭素固定便益	1,511,775	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,100,930	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	51,532	
	森林整備促進便益	164,102	
総 便 益 (B)		10,310,659	
総 費 用 (C)		2,285,357	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,310,659}{2,285,357} = 4.51$		

